

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-40743

(P2004-40743A)

(43) 公開日 平成16年2月5日(2004.2.5)

(51) Int.Cl.⁷
H04M 1/21F I
H04M 1/21

B

テーマコード (参考)
5K023

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2002-225391 (P2002-225391)
(22) 出願日 平成14年6月28日 (2002.6.28)(71) 出願人 502279009
寺山 光男
埼玉県所沢市下富864番地21
(72) 発明者 寺山 光男
埼玉県所沢市下富864番地21
Fターム(参考) 5K023 AA07 MM16

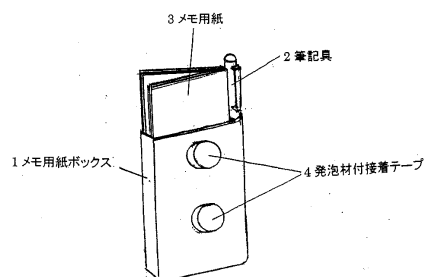
(54) 【発明の名称】 電話機用メモ用紙ボックス

(57) 【要約】

【課題】従来は、受信時に、筆記具とメモ用紙を、都度探して、メモをしていたが、それ等を揃えるのに、苦労した。

【解決手段】コードレス電話機に、筆記具とメモ用紙の入ったメモ用紙ボックスを、装着させた。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メモ用紙ボックス（１）に、筆記具（２）及びメモ用紙（３）を入れ、発泡材付接着テープ（４）で、コードレス電話機（５）に装着して、メモを取るためのボックスである。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

この発明は、主に、コードレス電話機で受信時に、メモを取ることに關するものである。

【０００２】

【従来の技術】

特に類似するものは無し。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】

受信時に、メモが必要な時、傍に筆記具やメモ用紙が無くて、それ等を揃えるのに苦労する場合が多かった。

本発明は、これらの欠点を除くために、なされたものである。

【０００４】

【課題を解決するための手段】

メモ用紙ボックス（１）に、筆記具（２）及びメモ用紙（３）を入れ、発泡材付接着テープ（４）で、コードレス電話機（５）に装着。

本発明は、以上のような構成よりなる、メモ用紙ボックスである。

【０００５】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について説明する。

（イ）メモ用紙ボックス（１）に、筆記具（２）及びメモ用紙（３）を入れる。（ロ）メモ用紙ボックス（１）を、発泡材付接着テープ（４）で、コードレス電話機（５）に装着させる。

（ハ）筆記具（２）は、落下を防ぐため、クリップ付とした。

メモ用紙（３）は二つ折りにすることにより、紙面の弾力で、落下を防ぎ、二つ折りにすることにより、ボックス巾の倍の紙面を確保し、メモを取り易くした。接着テープ（４）は発泡材を付けることにより、コードレス電話機の背中の曲面に対応することができる。

【０００６】

【発明の効果】

メモ用紙ボックスが、コードレス電話機に装着されているので、受信時にメモが必要な時、いつでも、どこでも取れる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の斜視図である。

【図 2】本発明のコードレス電話機への装着図である。

【符号の説明】

- 1 メモ用紙ボックス
- 2 筆記具
- 3 メモ用紙
- 4 発泡材付接着テープ
- 5 コードレス電話機

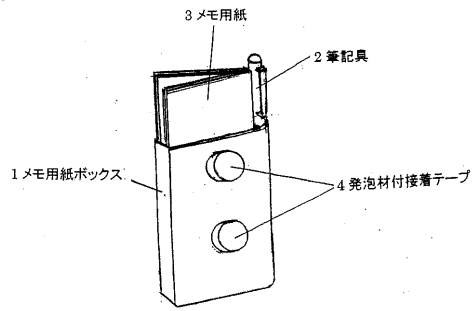
10

20

30

40

【図 1】



【図 2】

